



コーヒーブレイク

サシバエ対策

チクッと刺されると痛いサシバエ。そのストレスが、乳牛の立ちっぱなし行動やかため食いを助長します。

管内ではサシバエ対策で効果をあげている事例がありますので、その要点をご紹介します。

発生時期

発生ピークはお盆過ぎ～9月下旬。時には春先や初冬にも発生。

幼虫はどこに？

取り残した糞や残飼の中で幼虫が見つかります。意外にも毎日牛に踏まれるパドックや新鮮な糞が毎日追加される堆肥盤の中央部では、なかなか幼虫を見つけることができません。

畜舎の柱周辺や四隅

縁石の上や外側

カーフハッチ、哺育ペン周辺

水槽周り

パルクリーナーの
エレベーター

パーラーお帰り通路周辺

対策

お盆過ぎからの殺虫剤空中散布では手遅れになります。サシバエ対策は、幼虫段階の個体数を増やさないことが基本です。越冬した個体を増やさないためにも対策は5月から行います。

1. 除糞・残飼処理の徹底 → 卵・幼虫・サナギを一掃

2. 5月から週に2回 IGR剤や殺ウジ剤を散布 → 清掃しきれない場所の幼虫対策(効果大)

3. 牛舎周辺の草刈りを徹底 → サシバエの休息場所を減らす

4. 予防策が失敗した場合 → ①粘着シートや誘引効果のある粘着スプレーの活用
②殺虫剤の空中散布

5. 被害が深刻な場合 → 換気対策を十分行ってから牛舎にネットを設置



鋭い口器で刺すのが特徴

粘着スプレーをかけた
ロールにハエが付着